


令和6年度
福井県公立小中学校事務職員研究会
秋季学校事務研究会
全体会

テーマ「共同実施の活性化を目指して」

令和6年10月17日

1

全体会概要

- 
- ◆ 県事研 研究部より
県事研の目指すこれからの共同実施
協同研究グループ（協力市町＋研究部）の取組について
 - ◆ 新潟市共同学校事務室の取組紹介
「共同学校事務室」を知ろう

2



講師・
助言者
紹介

全体会 講師 および 分科会助言者
新潟市立東特別支援学校 主査
学校事務を創造する会 代表

恩田 裕也 様

学校事務を創造する会

新潟市立大形小学校 主査 富樫 拓也 様

新潟市立小針小学校 主査 渡部 慎 様

滋賀県大津市立田上中学校

主任事務主事 堀井 直樹 様

3

研究部より

共同実施の活性化を目指して

実践の共有と活用

より効果的に行える場・・・共同実施

より進んだ取組・実践ができる共同実施へ変わっていこう

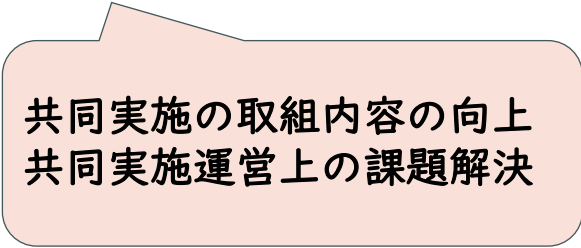
今年度・・・「目指す姿」の共有 方向性の共通理解

現状に気づき、変革の必要性に目覚めること

4

共同実施の活性化に向けて


市町共同実施 × 研究部 **タイアップの活動**



共同実施の取組内容の向上
共同実施運営上の課題解決



5



県事研の目指す
これからの共同実施

6

共同実施に期待されていること

- ① 学校事務の効果的な実施
… 適正な事務処理、学校事務機能の強化
- ② 事務職員の資質向上 … 人材育成、OJT
- ③ **学校運営への参画 … 学校のマネジメント機能の強化**

7

「従事する」「つかさどる」 「学校運営に参画する」とは…？

- ① 事務に従事する
勤務校の経営方針・教育活動の理解の下、事務を処理する
- ② 事務をつかさどる
勤務校の経営方針・教育活動の理解の下、一定の責任を持って事務を管理する
- ③ **学校運営に参画する**
教育および学校運営について、積極的に意見を述べ、教職員と協働し問題解決する

8

共同実施で期待される役割を担うために…

次の3つのレンズ（観点）を土台として持ちながら取り組むことが重要です

(1) リサーチ : 学校の課題を探す

何に困っているのか、何が課題なのか

(2) 意思決定 : やるべきことを決める

なぜそれに取り組むのか説明ができる 結果の検証

(3) 地教委・管理職等周囲の理解と支持を得る

成果を可視化し、信頼を獲得する（任せてくれる体制をつくる）

9

福井県の共同実施の実態から

一定の成果を挙げている

- ・ 事務処理の効率化（共通ソフト、様式集一括管理、消耗品一括購入等）
- ・ 事務処理の標準化（教員配付資料の作成、マニュアル作成、統一様式等）
- ・ 事務処理の適正化（提出書類の相互点検、通知文書の読み合わせ）
- ・ 少経験者への支援、育成（初任者研修、OJT等）

地域連携・学校運営への参画
他職種・地教委との連携

伸び悩んでいる

マンネリ化
手詰まり感

10

これらを踏まえて、福井県事研では
こんな共同実施を目指します

学校運営への参画や 学校課題の解決を考える共同実施へ

そのためには…

- 1 マンネリ感・手詰まり感からの脱却
- 2 これまでの取組の見直し、改善
- 3 学校の課題を把握し、解決につなげる取組へ

11

1 マンネリ感・手詰まり感からの脱却

【こんなこと、ありませんか…？】

- ・業務内容が書類の点検作業、通知文書の読み合わせや共通理解、少経験者への研修で終始している
- ・来年度はどんな取組を…となると何も浮かばず、結局点検作業やOJT中心の業務内容に偏ってしまいがちに

12

2 これまでの取組の見直し、改善

【こんなこと、ありませんか…？】

- ・ これまでに作成したマニュアルやシステムの更新作業に手いっぱいである
- ・ 共同実施に関して管理職の理解がない、期待されていないと感じる
- ・ 事務職員の内輪だけで完結する業務がほとんどである

13

3 学校の課題を把握し、解決につなげる取組へ

【こんなこと、ありませんか…？】

- ・ 共同実施の評価や振り返りを行っているが、課題を見つけるまでには至らない
- ・ 学校全体に関する取組や他職や関係機関を巻き込んだ取組に行き詰まりを感じる
- ・ 取組を考えるにあたり、学校課題や市町全体の学校経営方針等に照らし合わせて改善を考えるところまでには至っていない

14

よりよい共同実施にするために

その1

事務の適正な執行や人材育成のため
には、点検作業やOJTも大切

それらの効率化を図る**業務改善策を**
講じ、学校運営に資する取組中心へ
シフトチェンジを図ろう

15

よりよい共同実施にするために

その2

学校課題や地域の学校全体での
困りごとや重点目標を**的確に把握し、**
それらを反映した取組内容の計画を
立てよう

16

よりよい共同実施にするために

その3

他職種や地教委との連携・協働のもと確実に実行し、
成果を見える化させ、
「学校を改善してくれる組織」として
周囲の信頼を得る

17

よりよい共同実施にするために

その4

実践の共有、他者の実践を自身の
課題に照らし、応用・活用する
ことが大切

18

協同研究グループ の取組

モデル地区の市町

越前市・大野市・小浜市 × 研究部



共同実施の取組の改善、取組上での問題の解決、
運営上の課題解決につなげる

19

協同研究グループ の取組

モデル地区の市町

越前市・大野市・小浜市 × **研究部**

解決方法を探る過程でのサポート

- ・他の市町での取組や改善策の情報収集
- ・他の市町との交流の橋渡し 等

20

協同研究グループ の取組

【秋季学校事務研究会分科会での話題提供】

○越前市学校事務共同実施

- ・共同実施の業務改善（成果物の維持管理の在り方、点検業務やOJTの効率化等）により、学校運営の取組への時間を生み出す方法について考える

○大野市学校事務共同実施

- ・「学校に頼られる共同実施を目指して」
学校運営に資する共同実施の取組に向けて、具体的な「負担感」「手詰まり感」を洗い出し、「やりたい取組」につながる手立てを考える

○小浜市学校事務共同実施

- ・「他職との協働を通じた学校運営の仕組みづくり」
校内での文書の受付・供覧等の方法の在り方を例に、他職との協働による校内の仕組みづくりの方法や、共同実施での標準化の在り方などについて考える

21

共同学校事務室 って・・・？

これまでの共同実施と
何がちがうの・・・？

どんなメリットが
あるの・・・？

「共同学校事務室」の制度が、
これからの福井県の共同実施の
在り方としてふさわしいかどうか
を考えていくために、まずは、

「共同学校事務室を
知る」ところから
始めましょう

22